

事務事業名		岩手県中小企業団体中央会支援事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 - 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入			
	施策名	21 活気あふれる商業の振興					
	基本事業名	02 商業・サービス業の経営支援					
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 07 01 02 06			
所属	部課名	商工港湾部商業観光課					
	課長名	鈴木 弘					
	係名	商業係	電話 0192-27-3111				
	担当者	鈴木文武	内線 106				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 市内の中小企業団体(事業協同組合等)及び中小企業者を支援するため、岩手県中小企業団体中央会(盛岡市)に対し運営負担金の支出を行っている。事業費は、中央会通常総会への旅費、賃借料(駐車料)、中央会負担金として支出される。 [岩手県中小企業団体中央会の主な活動] ・組合等の組織、事業、及び経営の指導 ・組合等に関する交流、研修事業 ・組合等に関する調査、情報提供事業				全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
				総投入量(千円)	事業費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0	
					人件費	正規職員従事人数	
						延べ業務時間	
						人件費計(B)	0
					トータルコスト(A)+(B)		0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標													
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・運営負担金の支出 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・前年度と同じ	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>岩手県中小企業団体中央会運営負担金請求件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	ア	岩手県中小企業団体中央会運営負担金請求件数	件	イ			ウ		
名称		単位											
ア	岩手県中小企業団体中央会運営負担金請求件数	件											
イ													
ウ													
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・岩手県中小企業団体中央会 ・市内中小企業、中小企業団体	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ</td><td>岩手県中小企業団体中央会運営負担金請求件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>キ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ク</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	カ	岩手県中小企業団体中央会運営負担金請求件数	件	キ			ク		
名称		単位											
カ	岩手県中小企業団体中央会運営負担金請求件数	件											
キ													
ク													
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・岩手県中小企業団体中央会、市内中小企業及び中小企業団体の運営が安定する。 ・市内中小企業及び中小企業団体の組織化が図れる。 ・市内中小企業及び中小企業団体が岩手県中小企業団体中央会の支援制度を受けられる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ</td><td>市内における新規組合設立数</td><td>件</td></tr> <tr><td>シ</td><td>市内加入組合数(中小企業団体中央会名簿より)</td><td>団体</td></tr> <tr><td>ス</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	サ	市内における新規組合設立数	件	シ	市内加入組合数(中小企業団体中央会名簿より)	団体	ス		
名称		単位											
サ	市内における新規組合設立数	件											
シ	市内加入組合数(中小企業団体中央会名簿より)	団体											
ス													
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・安定して経営できる。													

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																								
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">投入量</th> <th rowspan="2">事業内訳</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="6">年度</th> </tr> <tr> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> <tr> <td rowspan="10">投入量</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>1,829</td> <td>1,783</td> <td>1,916</td> <td>2,115</td> <td>2,052</td> <td>2,120</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>1,829</td> <td>1,783</td> <td>1,916</td> <td>2,115</td> <td>2,052</td> <td>2,120</td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>2,229</td> <td>2,183</td> <td>2,316</td> <td>2,515</td> <td>2,452</td> <td>2,520</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>件</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>件</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>件</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td>団体</td> <td>31</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>35</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		投入量	事業内訳	単位	年度						23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	投入量	国庫支出金	千円							都道府県支出金	千円						地方債	千円						その他	千円						一般財源	千円	1,829	1,783	1,916	2,115	2,052	2,120	事業費計(A)	千円	1,829	1,783	1,916	2,115	2,052	2,120	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	延べ業務時間	時間	100	100	100	100	100	100	人件費計(B)	千円	400	400	400	400	400	400	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,229	2,183	2,316	2,515	2,452	2,520	⑤活動指標	ア	件	1	1	1	1	1	1	イ							ウ							⑥対象指標	カ	件	1	1	1	1	1	キ							ク							⑦成果指標	サ	件	1	3	4	1	1	シ	団体	31	32	34	35	36	ス													
投入量	事業内訳				単位	年度																																																																																																																																																																		
		23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)		26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																																																																																																
投入量	国庫支出金	千円																																																																																																																																																																						
	都道府県支出金	千円																																																																																																																																																																						
	地方債	千円																																																																																																																																																																						
	その他	千円																																																																																																																																																																						
	一般財源	千円	1,829	1,783	1,916	2,115	2,052	2,120																																																																																																																																																																
	事業費計(A)	千円	1,829	1,783	1,916	2,115	2,052	2,120																																																																																																																																																																
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																
	延べ業務時間	時間	100	100	100	100	100	100																																																																																																																																																																
	人件費計(B)	千円	400	400	400	400	400	400																																																																																																																																																																
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,229	2,183	2,316	2,515	2,452	2,520																																																																																																																																																																
⑤活動指標	ア	件	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																
	イ																																																																																																																																																																							
	ウ																																																																																																																																																																							
⑥対象指標	カ	件	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																	
	キ																																																																																																																																																																							
	ク																																																																																																																																																																							
⑦成果指標	サ	件	1	3	4	1	1																																																																																																																																																																	
	シ	団体	31	32	34	35	36																																																																																																																																																																	
	ス																																																																																																																																																																							

事務事業ID	0411	事務事業名	岩手県中小企業団体中央会支援事業
--------	------	-------	------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	事業開始年度については不明だが、中小企業団体(事業協同組合等)及び中小企業者を支援している岩手県中小企業団体中央会(盛岡市)に対し、運営負担金を支出することにより、市内中小企業団体等への支援を便宜することとした。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	中小企業に対しての国の施策が、弱者保護の全体支援から、やる気のある中小企業者への個別支援に変わり、それに伴い中小企業者間の連携事業についても特化した支援制度等を創設してきているので、今後中小企業団体等の存在意義がますます大きくなっていくものと考えている。 また、東日本大震災の発生によって被災した中小企業団体等が事業を再開できるように、中小企業等グループ補助金の申請に必要な計画策定や認定後の計画推進などに対する支援が求められている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	市内中小企業からは、中小企業連携組織の専門支援機関として、コーディネート機能を発揮するとともに、新しい時代の連携組織を含む広範な中小企業のニーズに対して、支援のスピードアップ・効率化を図り、サービスを充実・強化し、中小企業が抱える課題へ対応していくことが期待されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	<p>この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？</p> <p>市内中小企業団体等を間接的に支援することにより、産業振興につながる。</p>
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	<p>なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？</p> <p>大企業のように容易に資金調達等を実施できない中小企業者は、同業者等で組合を設立し共同購入するなど経営の安定化を図っている。このような中小企業団体等を指導する立場である当該中央会の果たす役割は大きく、これを支援することは、最終的に産業発展につながり、市民が利益を享受できるものと考えている。</p>
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	<p>対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？</p> <p>市内全般の中小企業団体等の支援となるため適切である。</p>
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	<p>成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？</p> <p>新たな組合が加入することで、より活動の幅が広がる可能性があることから、向上の余地はある。</p>
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	<p>事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？</p> <p>大企業のように容易に資金調達等を実施できない中小企業者は、同業者等で組合を設立し共同購入するなど経営の安定化を図っている。このような中小企業団体等を指導する立場である当該中央会の果たす役割は大きく、これを廃止することは適切ではない。</p>
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】	<p>目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？</p> <p>類似事業がない。</p>
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	<p>成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)</p> <p>岩手県中小企業団体中央会への負担金については、岩手県中小企業団体中央会が各市町村ごとに所在する事業所数や組合数などの算出根拠をもとに割り出しており、可能な限り最小限に止めているもので削減の余地はない。</p>
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	<p>やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)</p> <p>現在正規職員を一人当てている状況であり、これ以上の削減余地はない。</p>
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	<p>事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？</p> <p>大企業のように容易に資金調達等を実施できない中小企業者は、同業者等で組合を設立し共同購入するなど経営の安定化を図っている。このような中小企業団体等を指導する立場である当該中央会の果たす役割は大きく、これを支援することは、最終的に産業発展につながり、市民が利益を享受できるものと考えている。</p>

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>中小企業連携組織の専門支援機関として、状況の変化に即した方策を実施している。 新しい組合設立に向け働きかけを行うことにより、今後も成果の向上が期待できる。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>市内の中小企業団体等に県中小企業団体中央会についての市ホームページ等で情報を提供することにより、組合設立を促す。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

2次評価者	商業観光課長	鈴木 弘
-------	--------	------

4 事務事業の2次評価結果

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input checked="" type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>新たな組合の設立を促すこと、新規組合が岩手県中小企業団体中央会に加入することで、中央会の事業が受けられ成果の向上が期待できる。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>・市の産業振興を図るため、関係団体と連携し、新たな組合の設立の誘導と、新組合の県中小企業団体中央会への加入を促進する。 ※加入組合が増えることにより、次年度の市の負担金は増加する。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
